【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和6年7月25日(2024.7.25)

【公開番号】特開2022-22134(P2022-22134A)
【公開日】令和4年2月3日(2022.2.3)
【年通号数】公開公報(特許)2022-020
【出願番号】特願2021-117296(P2021-117296)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/165(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/175(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/00(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 11/322(2014.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　2/165２１１
Ｂ４１Ｊ　2/01　５０１
Ｂ４１Ｊ　2/175５０３
Ｂ４１Ｍ　5/00　１２０
Ｂ４１Ｍ　5/00　１００
Ｃ０９Ｄ 11/322

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月8日(2024.7.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１顔料及び第２顔料を含有する水性インクと、前記水性インクを収容するインク収容部と、前記インク収容部と接続し、前記インク収容部から供給される前記水性インクを吐出する吐出口が形成された記録ヘッドと、前記吐出口をキャッピングするキャップ機構と、前記インク収容部から前記記録ヘッドに前記水性インクを供給するチューブと、前記吐出口から吸引して前記インク収容部内を減圧状態とすることが可能なチョーク吸引機構と、を備えたインクジェット記録装置を使用し、前記吐出口から吐出した前記水性インクを記録媒体に付与して画像を記録する工程を有するインクジェット記録方法であって、
前記チョーク吸引機構が、前記チューブを押し潰しながらチョーク吸引を実施する機構を有し、
前記第１顔料が、キナクリドン顔料、前記キナクリドン顔料のうち２種以上から形成されるキナクリドン固溶体、ジケトピロロピロール顔料、及びジオキサジン顔料からなる群より選択される少なくとも１種であり、
前記第２顔料が、アゾ顔料からなる群より選択される少なくとも１種であることを特徴とするインクジェット記録方法。
【請求項２】
前記第１顔料が、キナクリドン顔料及びキナクリドン固溶体からなる群より選択される少なくとも１種である請求項１に記載のインクジェット記録方法。
【請求項３】
前記第１顔料が、キナクリドン固溶体である請求項１に記載のインクジェット記録方法

。
【請求項４】
前記アゾ顔料が、非固溶体顔料である請求項１乃至３のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項５】
前記第１顔料が、キナクリドン固溶体であるとともに、前記第２顔料が、Ｃ．Ｉ．ピグメントレッド１５０である請求項１に記載のインクジェット記録方法。
【請求項６】
前記チューブのデュロメーター硬さが、３５以上４５以下である請求項１乃至５のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項７】
前記チューブの内径が、１ｍｍ以上５ｍｍ以下である請求項１乃至６のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項８】
前記第１顔料の体積基準の累積５０％粒径D_1と、前記第２顔料の体積基準の累積５０％粒径D_2とが異なる請求項１乃至７のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項９】
前記第２顔料の体積基準の累積５０％粒径D_2が、前記第１顔料の体積基準の累積５０％粒径D_1よりも大きい請求項１乃至８のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１０】
前記第２顔料の体積基準の累積５０％粒径D_2が、１３０ｎｍ以上である請求項１乃至９のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１１】
前記第２顔料の体積基準の累積５０％粒径D_2が、１８０ｎｍ以下である請求項１乃至１０のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１２】
前記第１顔料の体積基準の累積５０％粒径D_1が、１１０ｎｍ以下である請求項１乃至１１のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１３】
前記第１顔料の体積基準の累積５０％粒径D_1が、８０ｎｍ以上である請求項１乃至１２のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１４】
前記水性インク中の、前記第２顔料の含有量（質量％）が、前記第１顔料の含有量（質量％）に対する質量比率で、０．２０倍以上である請求項１乃至１３のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１５】
前記水性インク中の、前記第２顔料の含有量（質量％）が、前記第１顔料の含有量（質量％）に対する質量比率で、０．８０倍以下である請求項１乃至１４のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１６】
前記水性インク中の、前記第１顔料の含有量（質量％）が、インク全質量を基準として、０．１質量％以上１５．０質量％以下である請求項１乃至１５のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１７】
前記水性インク中の、前記第２顔料の含有量（質量％）が、インク全質量を基準として、０．１質量％以上１５．０質量％以下である請求項１乃至１６のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１８】
前記水性インクが、前記第１顔料及び前記第２顔料のそれぞれを分散させるための水溶

性の樹脂分散剤を含有する請求項１乃至１７のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項１９】
前記水性インクが、マゼンタインクである請求項１乃至１８のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項２０】
前記記録媒体が、前記水性インクの浸透性を有する記録媒体である請求項１乃至１９のいずれか１項に記載のインクジェット記録方法。
【請求項２１】
第１顔料及び第２顔料を含有する水性インクと、前記水性インクを収容するインク収容部と、前記インク収容部と接続し、前記インク収容部から供給される前記水性インクを吐出する吐出口が形成された記録ヘッドと、前記吐出口をキャッピングするキャップ機構と、前記インク収容部から前記記録ヘッドに前記水性インクを供給するチューブと、前記吐出口から吸引して前記インク収容部内を減圧状態とすることが可能なチョーク吸引機構と、を備えるインクジェット記録装置であって、
前記チョーク吸引機構が、前記チューブを押し潰しながらチョーク吸引を実施する機構を有し、
前記第１顔料が、キナクリドン顔料、前記キナクリドン顔料のうち２種以上から形成されるキナクリドン固溶体、ジケトピロロピロール顔料、及びジオキサジン顔料からなる群より選択される少なくとも１種であり、
前記第２顔料が、アゾ顔料からなる群より選択される少なくとも１種であることを特徴とするインクジェット記録装置。